

燕市議選質問状への回答について

2022年10月17日
日本共産党 土田昇

Q1.候補者のすすめたい政策について

合併から16年が経過しますが、県立吉田病院の現地立替えを言い続け、現地立替えが実現する一方、病床数が減ってしまいます。病床を増やし、県央基幹病院と同時並行で受け皿をつくることこそが大事です。吉田病院の夜間救急受け入れの継続、医師の増員なども求めています。

子どもの医療費助成制度の拡充や国税の引き下げ、学校へのエアコン設置を実現した力で、今度は小中学校、保育園の給食費ゼロ、子ども医療費完全無料化、18歳まで国保税ゼロを実現します。消費税5%減税、国保税のさらなる引き下げ、介護の負担軽減、農家への独自の支援制度など暮らしを支えるためにがんばります。

原発再稼働は絶対に許さず、憲法9条を守りぬきます。

Q2.候補者から見る燕市、市政の課題、問題点についての考えをお聞かせください。

新型コロナや物価高騰に対して、国や県任せで独自の対策や支援が弱い。県央地域の医療再編計画について、市が受け身になっていることは大きな問題点です。市民の要望や不安を正面から県や国に届け、地域医療を守る先頭にたつべきです。高すぎる国保税の押しつけ、公共施設や保育園の統廃合を進め、市民のくらしや子育てに冷たい市政になっています。

Q3.候補者から見る燕市の素晴らしい所

吉田地区の地域経済を支える商業と中小企業、世界に誇れる伝統の地場産業を支える町工場の職人の技術は素晴らしいと思います。

Q4.候補者から見る国政を含む世界情勢についての考察。

岸田政権は、物価高騰に無為無策を続け、国民の批判のまともになっている旧統一協会との癒着の解明に背を向け、国葬も強行し、支持率は30%を下回っています。同時に軍事費を増大し、憲法9条を改定し海外で戦争する国、原発再稼働や新增設、高齢者の医療費2倍やさらなる介護制度の改悪など国民の平和とくらしをおびやかす政策を進めようとしていることは許されないと思います。ロシアによるウクライナ侵略は国際法違反であり許されません。北朝鮮のミサイル発射は断固糾弾し、中国やアメリカによる覇権主義的行動に反対します。問題があっても戦争にしない、外交による解決をはかる努力が求められています。